

イーサポートリンクは

生鮮青果物のトレーサビリティを確立し、
生活者の皆様に新鮮で安心な商品をお届けすることに貢献しています。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
ご質問・疑問にお答えします	3
株主広場	5
連結財務諸表（要旨）	7
セグメント別概況	8
企業情報	9
ホームページのご案内	10

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第13期中間「株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

わが国の経済は、個人消費の持ち直し、企業収益の改善など、一部景気の持ち直し傾向を見せつつあるものの、設備投資の減少、雇用情勢の悪化など、依然として厳しい状況で推移いたしました。生鮮青果物流通業界においては、バナナの輸入量・価額が前年を下回る状況で推移し、主要卸売市場の卸売数量や小売量販店における農産物販売額が前年を下回る状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループにおきましては、2010年11月期第2四半期連結会計期間は、生鮮MDシステムに関する事業の損益面の安定化、売上原価・販売費並びに一般管理費の削減の実施等により、業績が回復し、増収・増益となりました。売上高は前年同期比3.9%増の20億84百万円、経常利益は、前期の大きな損失から転換し、1億36百万円の利益を計上しました。

併せて、この結果を踏まえ、2010年11月期通期の業績予想の上方修正を発表いたしました。販売支援ビジネスの売上の目標未達により、売上高は前年比ほぼ横ばいの42億78百万円にとどまる見込みですが、経常利益は、前年度の大きな赤字から2億93百万円の利益計上と大幅に改善する見通しです。

株主の皆様におかれましては、前期・前々期と2期連続で大きな赤字を計上し、大変ご心配をおかけいたしました。ようやくV字回復のきっかけが掴めた決算を迎えることが出来たことをご報告させていただきます。

また、3月8日に資本増強による財務体質の改善、次の事業成長に向けた資金の増強を目的とした約5億円の第三者割当増資を実施いたしました。割当先のフレッシュMDホー

ルディングス株式会社は、青果物の加工・流通に関わる「総合青果物流通」企業グループで、中心的な子会社である株式会社フレッシュシステムは、当社の主要取引先であり、当社のシステムの利用および業務代行サービスの提供を受けている関係の深い企業です。今回の増資引き受けにより、尚一層の業務のシナジー効果があるものと考えております。

今後の見通しについては、調達支援ビジネスは、大幅なコスト削減を実施済みである一方で、生鮮MDシステムの利用取引先が増加しており、今後も黒字化定着へ向けた営業活動を継続してまいります。また、基幹ビジネスは、引き続き厳しい市場環境が予想される中、コスト削減に取り組み利益水準の確保に努めてまいります。販売支援ビジネスは、安定的な集荷体制の構築・商品力の強化に努め黒字化の実現を目指してまいります。

前期に導入しました株主優待制度につきましては、引き続き継続してまいります。今後も業績の更なる進展を目指し、皆様のご期待に沿えるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 堀内 信介

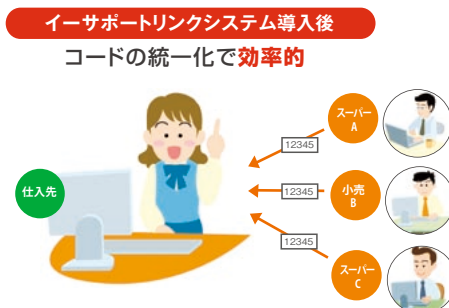
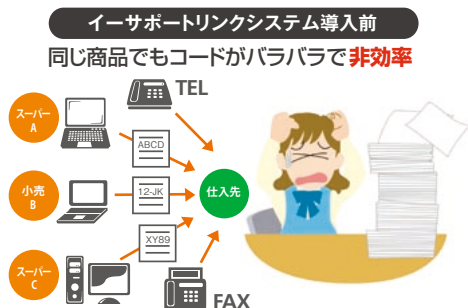


ご質問・疑問にお答えします

Q1

そもそも、イーサポートリンクシステムってどんなものなのですか？

- A** イーサポートリンクシステムは、コンピュータ管理が難しいとされてきた生鮮青果物を、コードの統一化により、流通に携わるすべての人達と「情報を共有」することが可能になるシステムです。生鮮青果物は、工業製品とは違い、同じ商品でもお店や仕入先ごとに商品コードがバラバラな上に、共通のシステムがないため情報が分断され、情報追跡を行いたくても困難な状態です。当システムを利用すると、情報が一元管理されるため、商品の情報追跡も可能になります。



Q2

業務受託事業って、野菜や果物の仕分け等の実作業を請け負っているのですか？

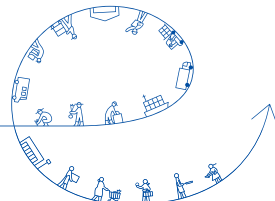
- A** いいえ、実作業を請け負っているではありません。お客様に代わって、受注から手配、入金、の消しこみまでのオペレーションを行うのが業務受託事業です。単なるコールセンターとは違い、当社の生鮮青果物流通業界を知り尽くしたスタッフにより、リアルタイムで商・物流管理を実現しています。お客様は当社のサービスを利用することで、本業に注力することができます。

〈業務代行サービスを導入すると…〉

- 必要なとき(時期)だけ業務代行のサービスを受けることができ、人件費等の〈固定費〉化されていた費用を、〈変動費〉化させ、経費削減へ導くことができます！
- 業務代行のメニューが明確化されているため、用途に合わせてサービスを受けることができます！

データベース管理
計画管理
経路管理
コスト管理
出荷管理
在庫管理

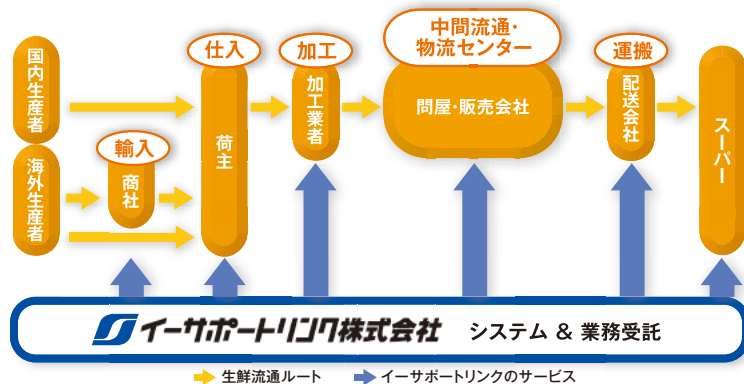




Q3

イーサポートリンクは、生鮮青果物流通にどのように携わっているのですか？

A 当社は、システムと業務受託で、生鮮青果物流通業界の各事業者に対し、サービスを提供しています。システム面と業務面でサポートすることにより、流過程で発生したムダな経費を大幅に削減することが可能になります。この2つのサービスを提供できるのは、当社以外にありません。現在は、主要クライアント企業以外の各事業者に対して、青果物以外においてもサービス提供を始めており、今後更に事業拡大を図ってまいります。



注) この図解はあくまでイメージ図で、全ての取引がこの限りではありません。

Q4

連結子会社: (株)農業支援が取り扱っているりんごは、どのようなりんごなのですか？

A 青森県の「岩木山りんご生産出荷組合」のりんごが中心です。「岩木山りんご生産出荷組合」は、「JGAP※団体認証」を取得している生産者団体です。りんごの安全性の確保や栽培工程の管理、生産環境の保全に力を入れており、皆さんに美味しく安全・安心なりんごをお届けするために、日々取り組んでいます。(株)農業支援は、受託販売と仕入販売を行い、りんごの販路の拡大に努めています。

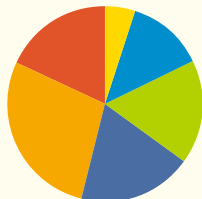


※JGAP…NPO法人日本GAP協会が進める「日本版適正農業規範」およびその認証制度のこと。農産物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、農産物の安全、環境への配慮、作業者の安全と福祉などの視点から適切な農場管理のあり方についてまとめられたもの。

株主さまアンケート結果報告

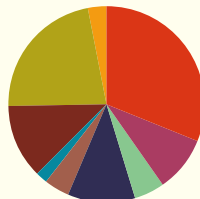
前回、第12期「株主通信」の送付に際して『株主さまアンケート』を同封し、当社の事業や株式に対する意識調査を実施させていただきました。アンケートには、**293名**の皆様からご協力をいただき、返信率**27.8%**という引き続き高い関心をお寄せくださいましたこと、心より御礼申し上げます。ここにアンケートの結果、ご意見、ご要望につきましてご報告申し上げます。

■ 年代分布



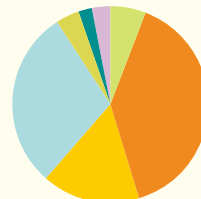
20代以下	5%
30代	13%
40代	17%
50代	19%
60代	28%
70代以上	18%

■ 職業分布



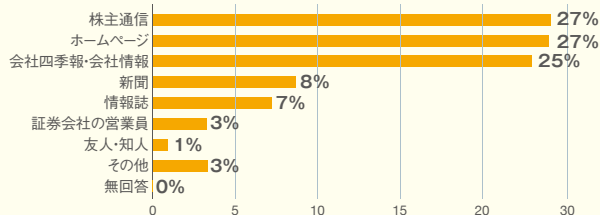
会社員	31%
会社役員	9%
公務員	5%
自営業	11%
パート・アルバイト	4%
学生	2%
専業主婦	12%
無職	22%
その他	3%

■ 居住地分布

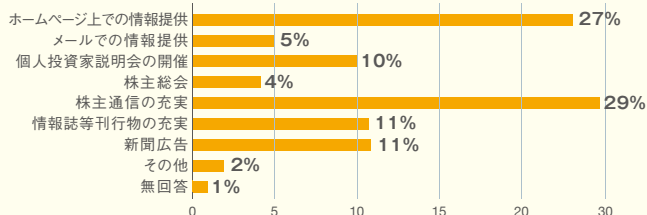


北海道・東北地方	6%
関東地方	39%
中部地方	16%
近畿地方	29%
中国地方	4%
四国地方	2%
九州地方	3%

■ 当社に関する情報の入手手段は何ですか？（複数回答）



■ 当社のIR活動等に充実を求めるものは何ですか？（複数回答）



■ 数多くいただいた株主様からのお声の一部をご紹介します

- ・株価が下がっているなので、より一層の努力をしてほしい。
- ・地道な情報発信の継続をお願いします。
- ・企業イメージのアップと知名度の向上に努力してください。
- ・事業が早く黒字化するように努力してください。
- ・地道な活動、取り組みを期待しています。
- ・株主優待を楽しみにしています。
- ・今後も「株主通信」の充実に期待しています。

当社では、株主の皆様からの貴重なご意見を今後の経営やIR活動に反映させるべく努め、企業価値の向上に取り組んでまいります。『株主さまアンケート』は、期末のみ実施いたします。次回の「株主通信」に同封いたしますので、ご協力くださいますよう、よろしく御礼申し上げます。

TOPICS

当社は、経営の透明性を高める情報開示をはじめ、展示会への出展など積極的に推進しています。

■ 2010年3月2日(火)～5日(金)

「FOODEX JAPAN 2010(第35回 国際食品・飲料展)」の『JGAP認証農場合同商談会』に出展〈主催:(社)日本能率協会〉

“食”の新たな価値を創造し続ける展示会「FOODEX JAPAN 2010(第35回 国際食品・飲料展)」の『JGAP認証農場合同商談会』協賛企業として、当社の食の安全・安心を支援する生産履歴管理システム〈農場物語〉を出展しました。

〈農場物語〉は、日本GAP協会の推奨するシステムとなり、『JGAP認証農場合同商談会』内のブースにて、システム紹介や生産者の方々との商談を行いました。



環境保全への取り組み

(株)農業支援とイーサポートリンク(株)は、環境保全への取り組みの一環として、青森県中津軽郡西目屋村にて、「第3回ヤマメ放流体験学習」(2010年6月4日実施)を主催しました。世界遺産である白神山地を源流とする岩木川に、地元の小学校4校の児童約150名とともに、ヤマメの稚魚約3万5,000尾を放流し、自然の大切さを子供たちに伝えました。

主催：フードトラスト岩木川プロジェクト(トキワ養鶏)、(株)農業支援、イーサポートリンク(株)
共催：西目屋村教育委員会、砂川学習館、西目屋村企画観光課、藤崎町教育委員会
協力：岩木川漁協、BM技術協会、岩木山りんご生産出荷組合、(株)青研

当社が取り組んだ岩木川へのヤマメの稚魚放流活動は、環境保全に貢献したとして、西目屋村の関和典村長より“感謝状”をいただきました!



連結財務諸表 (要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第13期 (当第2四半期) 2010年5月31日現在	第12期 (前第2四半期) 2009年5月31日現在	第12期 (前期) 2009年11月30日現在
資産の部			
流動資産	1,634	1,240	1,138
固定資産	1,099	3,136	1,241
有形固定資産	230	272	225
無形固定資産	650	2,615	767
投資その他の資産	217	247	249
繰延資産	8	2	6
資産合計	2,742	4,379	2,387
負債の部			
流動負債	925	1,347	1,103
固定負債	587	498	687
負債合計	1,512	1,846	1,790
純資産の部			
株主資本	1,230	2,529	594
資本金	2,721	2,471	2,471
資本剰余金	620	370	370
利益剰余金	△2,111	△312	△2,248
評価・換算差額等	△0	△0	△1
少数株主持分	—	4	3
純資産合計	1,230	2,533	596
負債純資産合計	2,742	4,379	2,387

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

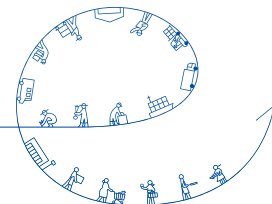
科目	第13期 (当第2四半期累計) 自2009年12月1日 至2010年5月31日	第12期 (前第2四半期累計) 自2008年12月1日 至2009年5月31日	第12期 (前期) 自2008年12月1日 至2009年11月30日
売上高	2,084	2,006	4,291
売上原価	1,424	1,815	3,622
売上総利益	659	191	668
販売費及び一般管理費	522	718	1,335
営業利益又は営業損失(△)	137	△527	△666
営業外収益	13	7	10
営業外費用	14	13	28
経常利益又は経常損失(△)	136	△533	△684
特別利益	6	34	34
特別損失	6	15	1,800
税金等調整前四半期 純利益又は純損失(△)	136	△515	△2,451
法人税等	3	4	8
少数株主損失(△)	△3	△12	△16
四半期純利益又は純損失(△)	136	△507	△2,443

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

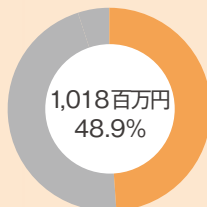
科目	第13期 (当第2四半期累計) 自2009年12月1日 至2010年5月31日	第12期 (前第2四半期累計) 自2008年12月1日 至2009年5月31日	第12期 (前期) 自2008年12月1日 至2009年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	351	24	168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57	△392	△416
財務活動によるキャッシュ・フロー	207	44	△45
現金及び現金同等物の増減額	501	△323	△293
現金及び現金同等物の期首残高	579	872	872
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,080	548	579

セグメント別概況



システム事業

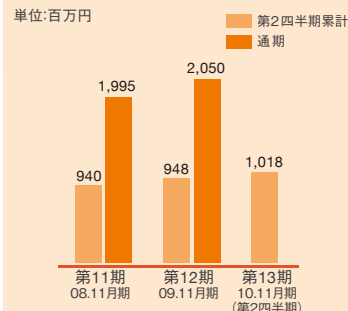
売上高構成比



業況

システム事業におきましては、イーサポートリンクシステムに対する機能拡張やサービスレベルの向上などにより、ユーザーの利便性を高めてまいりました。また、2009年1月からサービスの提供を開始した生鮮MDシステムは導入企業数の増加と、運用コスト等費用の削減を実施し収益性を改善いたしました。以上の結果、売上高は10億18百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益1億69百万円は（前年同期は営業損失3億81百万円）となりました。

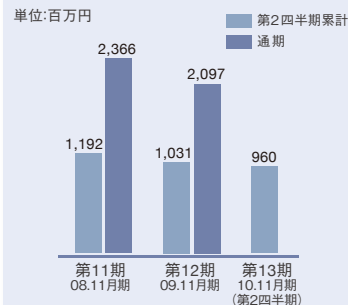
売上高推移



業務受託事業

960百万円
46.1%

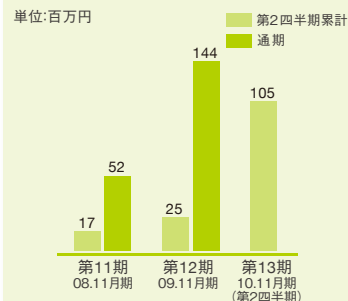
業務受託事業におきましては、当社主要顧客が商材の絞込みを実施したことなどにより、当社の取扱受託作業量が減少いたしました。生産性の向上などによるコスト削減、効率的な運用に努めてまいりました。以上の結果、売上高は9億60百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は3億53百万円（前年同期比14.1%増）となりました。



農産物販売事業

105百万円
5.0%

農産物販売事業におきましては、生産者との連携強化及び販路の拡大、収益力の改善に努め売上高を増加させてまいりましたが、販売費及び一般管理費などコストを吸収するには至りませんでした。以上の結果、売上高は1億5百万円（前年同期比312.2%増）、営業損失は44百万円（前年同期は営業損失1億11百万円）となりました。



12期まで「その他の事業」として集約しておりました「りんご事業」及び「マーケティング事業」について、人的資源の有効活用、販売効率及び営業管理体制の強化に向けて組織を改編したことに伴い、事業区分を集約し「農産物販売事業」として表示することに変更いたしました。また、各事業の機能を効率的・効果的に活用して全社横断的な営業活動を進めるため、従来「システム事業」「業務受託事業」に含めてきた新規営業推進の担当部門を、組織変更により独立した組織といたしました。これにより、当該部門で発生する費用を第1四半期連結会計期間より全社共通費用として集計することに変更いたしました。なお、前年同期に関する数値は、上記営業費用の配分方法に組み替えた上で比較しております。

企業情報 (2010年5月31日現在)

会社概要

商号	イーサポートリンク株式会社 (英文商号 E-SUPPORTLINK, Ltd.)
本社所在地	東京都豊島区高田二丁目17番22号
設立	1998年10月6日
資本金	2,721百万円
従業員数	266名(連結) 256名(個別)

株式の状況

発行可能株式総数	107,000株
発行済株式総数	44,248株

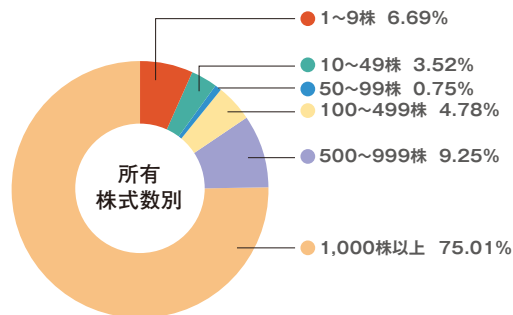
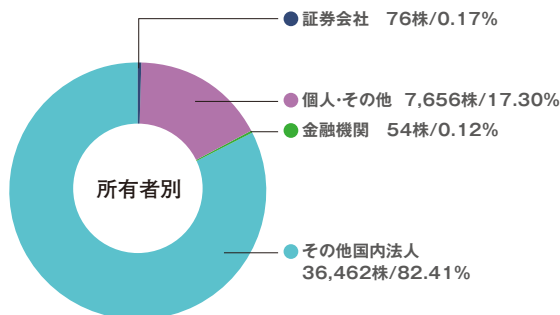
役員

代表取締役社長	堀内 信介
取締役	松丸 正明
取締役	仲村 淳
社外取締役	村井 勝
社外取締役	下戸 章弘
常勤監査役	伊藤 日出夫
監査役	佐藤 智之
監査役	吉田 茂

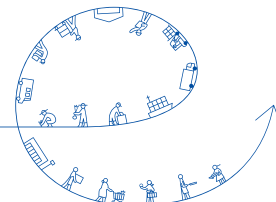
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
フレッシュMDホールディングス株式会社	18,194	41.11
株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	4,333	9.79
全日本ライン株式会社	1,956	4.42
伊藤忠商事株式会社	1,883	4.25
ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社	1,883	4.25
株式会社上組	1,667	3.76
東洋埠頭株式会社	1,111	2.51
オリックス株式会社	1,111	2.51
株式会社フレッシュプロデュースドットコム	1,050	2.37
ファルコン投資事業組合	978	2.21

株式分布状況



ホームページのご案内



当社では、「株主通信」ではお伝えきれない情報を、ホームページにて開示しています。



「バナナ物語」では当社の事業をわかっていただくために、バナナの流通を例にとり、説明しています。

この中には僕たちの紹介もしています。ぜひ、ご覧ください。



イーくん

サボくん

会社概要、沿革、事務所案内などを掲載。

生産者様向けのサイトになります。事業紹介のページよりも更に詳しく載せていますので、ご覧ください。

IRニュース、IRメモ、財務業績ハイライト、IRライブラリー、IRカレンダーなどを掲載。IRライブラリーには、決算短信や適時開示資料、有価証券報告書、株主通信、株主総会の資料が入っています。【決算説明会資料】は、「その他IR資料」からチェックしてください。

当社の事業紹介としてシステム事業、業務受託事業について説明しています。

ホームページは、2010年12月から生まれ変わります！

投資家情報は元より、営業コンテンツも加えて、当社の事業に理解・興味を持っていただけるホームページを目指し、只今奮闘中です。楽しみにしててください！

株主メモ

事業年度 毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会 毎年2月下旬
単元株式数 1株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社 になります	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

公告方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、やむを得ない事由によって、
電子公告による公告をすることが
できない場合には、日本経済新聞に
掲載して行います。

「株主優待」のご案内

毎年5月31日現在の株主名簿に記載または記録された
1株以上保有の株主様を対象とします。

青森県産りんごの100%ストレートジュース

- ・1株～9株 1リットル × 6本
- ・10株以上 1リットル × 12本

 **イーサポートリンク株式会社**

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号
TEL 03-5979-0666 FAX 03-5979-0667



この冊子は環境保全のため、大豆油インキとFSC認証紙を使用しています。